

Q&A 今後の市政と安心・安全なまちづくりについて



三木 浩一 議員

KOICHI MIKI



10年20年先の市政について

問 これからの10年、20年先のたつの市の土台作りための施策はどんなことを考えているのか。

答 人口減少下にありながらも、持続可能なまちづくりを実現するため、「子育て支援」、「医療・福祉・教育の充実と人材育成」、「地域産業の振興」、「防災・防犯対策の強化」等、バランスの取れた施策を総合的に推進していくことが重要である。現在、「第3次たつの市総合計画」の策定に着手しており、若者や女性、事業者の視点を取り入れ、10年後の市の目指すべき将来像や関連施策等を構築していきたい。

問 市職員の人材育成や、職場環境の改善も必要ではないか。

答 人材育成については、職場内外における様々な研修や公費負担での資格取得支援を実

施している。職場環境の改善では、さらなる休暇の取得促進や相談しやすい環境づくりに努めていく。

安心・安全なまちづくりについて

問 上下水道管の老朽化対策とその費用負担はどうなっているのか。また、緊急時の避難所運営において「TKB48」（トイレ・キッチン・ベッドの整備を48時間以内に整備すること）の必要性について対応はどのように考えているのか。さらには、近年外国居住者が増加しているがその対応はできているのか。

答 今後、上下水道管の多くが、耐用年数を迎えることになる。更新については、費用の平準化と管路の重要度により優先順位を定めて実施している。費用負担は、上水道は水道料金、下水道は国の交付金等を活用する。外国居住者は、5年前の60%増となっており、言語や相談事をサポートする体制をとっている。避難所備蓄品については、良好な生活空間の確保に向けて引き続き充実させていく。

Q&A 「シティプロモーション」「学校の跡地利活用」も、創造的発想でチャレンジを!



和田 美奈 議員

MINA WADA



シティプロモーション戦略

問 近年、多くの自治体では、シビックプライドの醸成、まちの総合的な魅力アップや発信のためシティプロモーションに力を入れている。本市の魅力を広く内外の方にPRしていくため、先進地域のような本市独自の「シティプロモーション戦略」や「指針」等の全庁横断的な具体計画が必要と感

答 シティプロモーションについては「たつの市総合計画」基本計画において、一つの施策として位置付けられ、ここで掲げる目的・目標を実現するための手段としてそれぞれの分野において具体的な計画を策定し、遂行されるべきものと考

学校等跡地施設の利活用

問 昨年の6月議会でも質問した新宮地域にとって非常に重要なテーマである学校の跡地利活用について、「たつの市学校等跡地施設利活用基本方針」が本年3月に策定された。その中に新宮中学校跡地は対象に入っていないがなぜか。

答 新宮中学校体育館はスポーツセンターとして、テニスコートについても引き続き利用する方向で検討している。校舎については基本方針に基づき検討していく。

問 「利活用基本方針」の「利活用に向けた考え方」には「特区制度の活用」とあるが、具体的な構想はあるのか。さらに「トライアル・サウンディング制度」の活用についても触れられているが、どのように活用していくのか。

答 地元ニーズを最大限実現できるよう、様々な制度の活用を検討したい。また、企業等がトライアルで短期利用できるよつ、利活用方策も考察し、跡地活用を促進していきたい。

その他の質問事項

● 空き家の公益的利活用